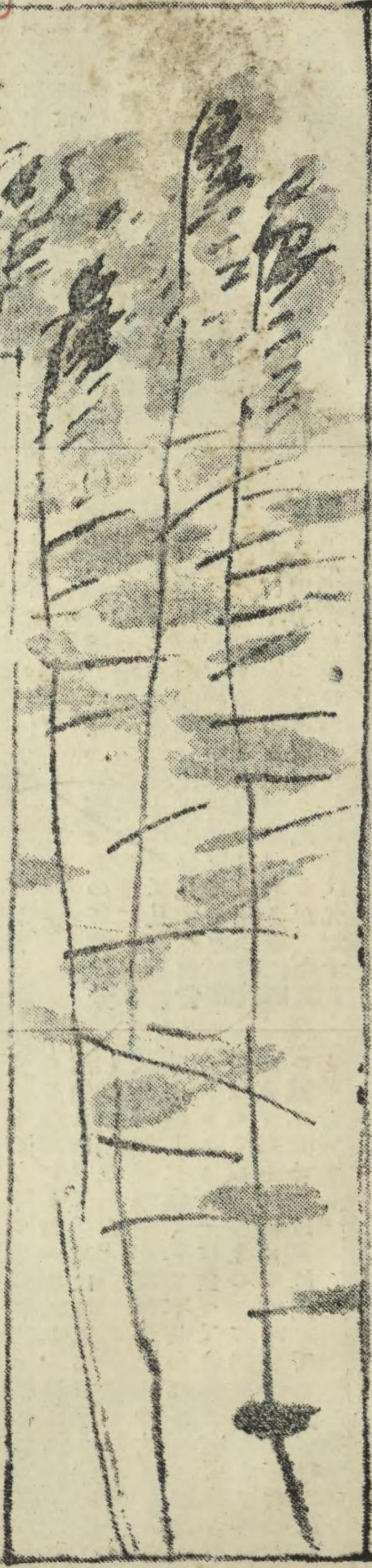
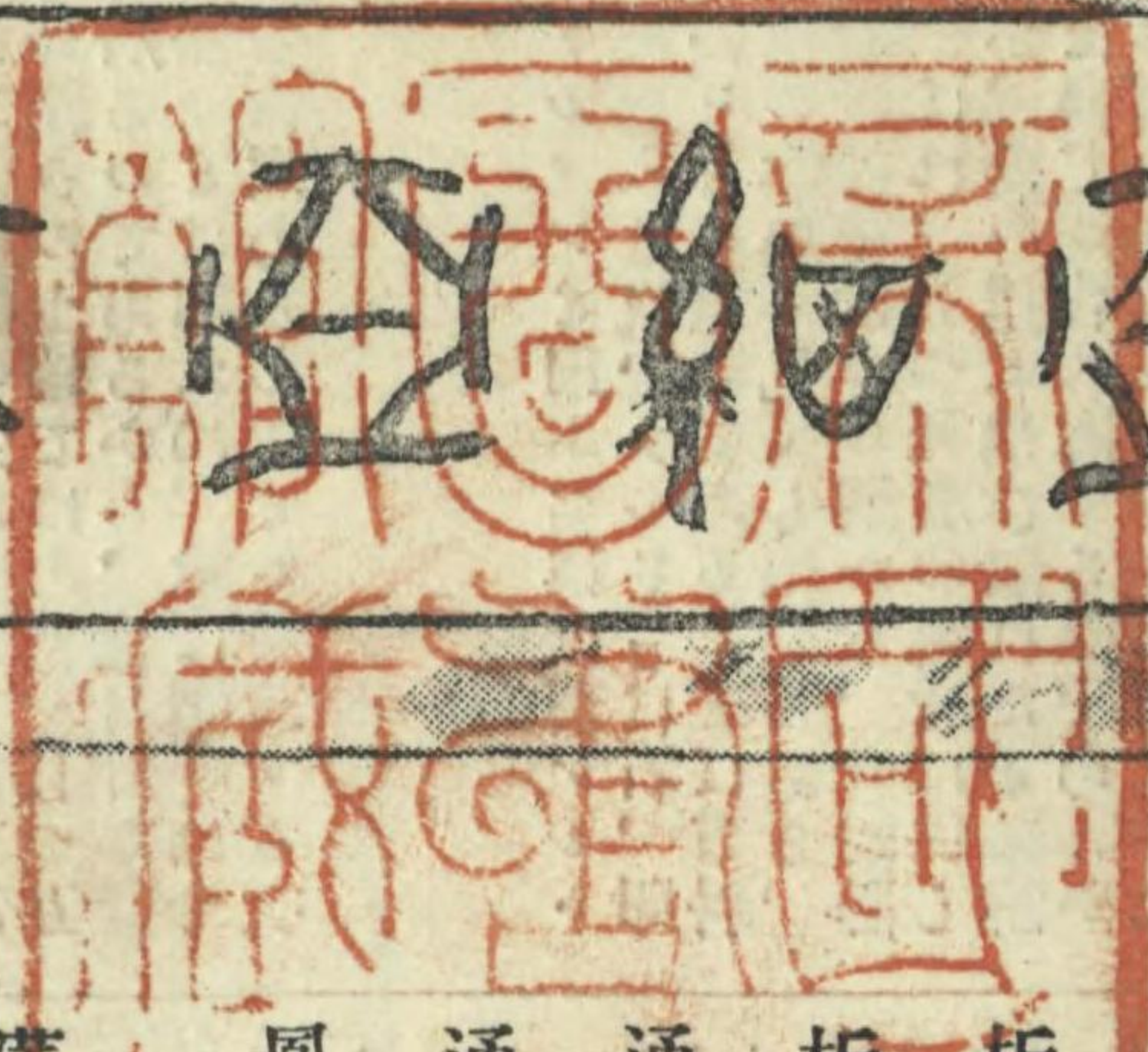


423
305

亞細亞大觀



滿洲のドルメンとメンヒル(特輯) 百三十回 八
十二輯ノ八

- 亮甲店大石礮大(一).....一
- 亮甲店大石礮小(二).....二
- 萬家嶺大石礮.....三
- 九塞石礮山古雲寺.....四
- 分水ノ石礮.....五
- 析木城ノ石礮大(一).....六
- 析木城ノ石礮小(二).....七
- 通化縣石礮(一).....八
- 通化縣石礮(二).....九
- 鳳凰城石柱子.....十



滿洲のドルメンとメンヒル 八木英三郎

大連市山縣通一九三

發行所 亞細亞寫真大觀社

電話(2)六二三五番
振替大連七一八番

(毎月一回發行)

版權所有 不許複製

編輯人 大連市山縣通一九三 青山春路
 發行人 同 島崎役治
 發行所 同 亞細亞寫真大觀社



大石棚

大石棚は、朝鮮半島の南東部、慶尚道に分布する。その形は、大石を二枚、一枚を立て、一枚を横に架け、その間に土を盛り上げて作る。これは、雨をしのぐための施設である。また、大石棚は、古くから存在し、その歴史は長い。大石棚の分布は、朝鮮半島の南東部に集中している。これは、この地域が、古くから農業を営んでいたことが、うかがえる。大石棚の存在は、この地域の農業の発展に、大きく貢献している。大石棚の形は、大石を二枚、一枚を立て、一枚を横に架け、その間に土を盛り上げて作る。これは、雨をしのぐための施設である。また、大石棚は、古くから存在し、その歴史は長い。大石棚の分布は、朝鮮半島の南東部に集中している。これは、この地域が、古くから農業を営んでいたことが、うかがえる。大石棚の存在は、この地域の農業の発展に、大きく貢献している。

(亞細亞大圖十二輯四回)

(1) 析木城のドルメン。滿洲に於けるドルメンの発見は明治廿七八年日清戦争の休戦中、鳥

ひにして遺物を得る場合は矢張り同一現象を呈するものと思はれる。歐洲では斯るドルメンや、メンヒル以下の遺蹟時代を總括して巨石文化 Megalithic Culture と稱して居るが、此の文化は我が東洋でも嘗て經過した証據として、茲に示す寫眞類は頗る有益の資料と申さねばならぬ。猶ほ歐洲のドルメン内より出ずる骨は、焼たものと焼かぬものとを區別があることであるが、朝鮮の例は即ち焼かぬ方であるが、將來滿洲のドルメン内から人骨が出て、それは恐らく朝鮮と同様であるかと考へる。又此のドルメンには大小の別があるけれども、右は時代の新古か、身分の高下か、富の多少か其の邊の事情は不明である。唯だ一般の例より一般の例曰へばその最盛時代に大なるもので出来たことは普通である。

(4) 分水嶺の石棚。九塞の石棚調査の當時、分

水驛の東方約一里半か二邦里の地点にもドルメンの存在するところを地圖上に於て見出した。併し當時は時間都合上之を實見する機会を得なかつたが、爾後奉天の學校先生達が調査して世に判然することと爲つた。此の石棚は一個丈で完全である。形式、大き等は殆んど析木城方面のものと同一様に見へるが、今其の記事が手元に無ひから寸尺以下は欠如する。

する者が夫れである。高さは約一丈、幅は下部約二尺、厚さ八寸あり口碑によれば村民の掘り出し物とす。根深くして底を知らず。このことなり。猶ほ石柱子の地名は各所にあり。何れに致せ滿洲に見られるかも知れぬ。古蹟遺聞によれば黒山縣の北方五十支里の地点にも石柱子名稱の村落があり、又東三省の平原中に石柱一あり、高さ五六尺、廣さ尺餘とあり。或は鳳凰城方面の分と同一のものかと考へる。

又鳥居龍藏博士が亮甲店にて發見せりと思ふ。分は餘りに短くして不明なれども、同氏は之をメンヒルの一に數へて居る。右は確否不明ではあるが参考上の一に供することは適當である。以上は極めて概略ではあるが右の不足を補ふ爲めには寫眞上にて充分會得されんことを希望する。

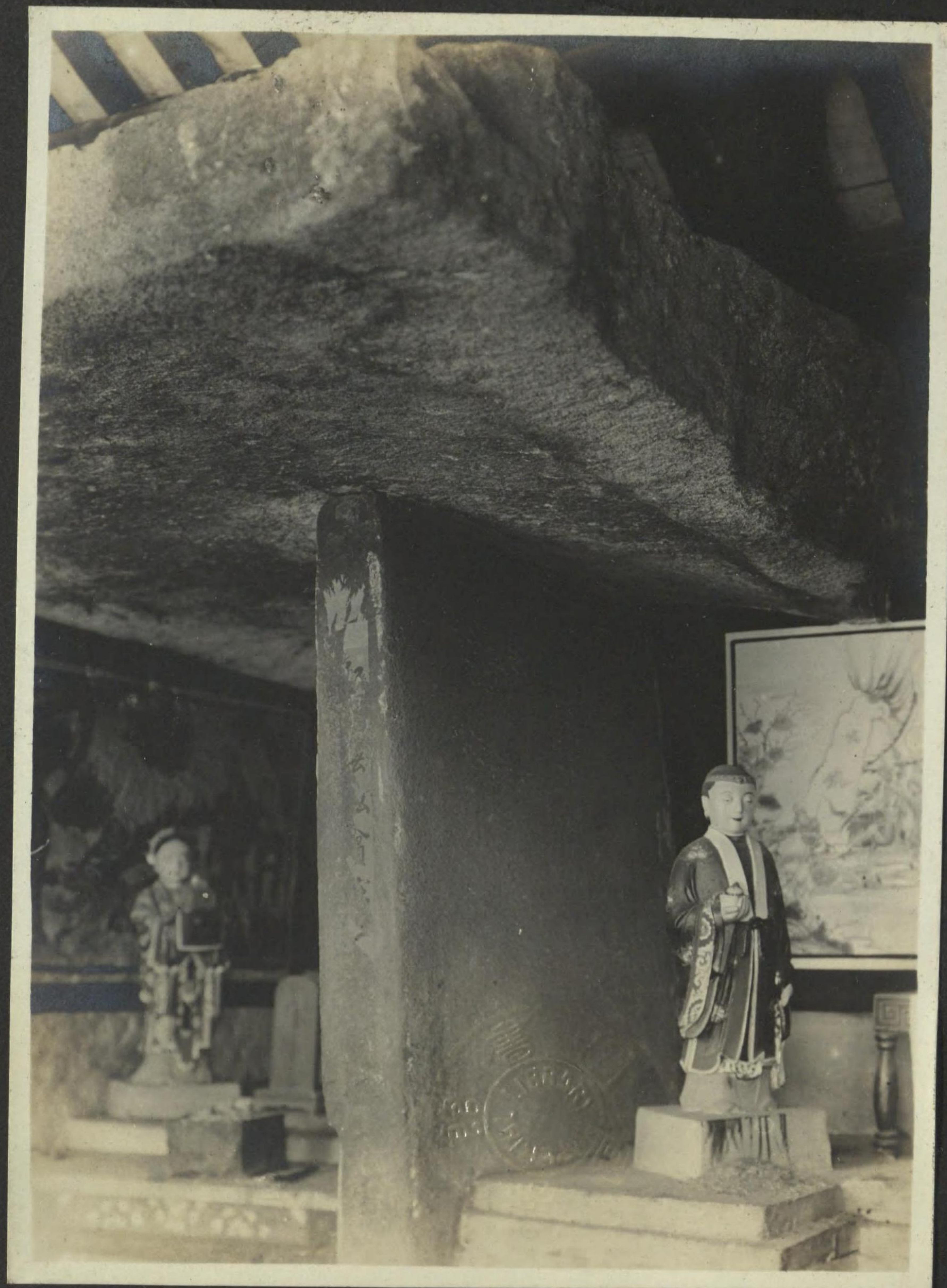


(ルメルド)棚石
(店 蘭 普)

普蘭店を距る五里亮甲店附近に大小二箇の石棚がある。これはその一つである。歴史以前石器時代の遺物であつて三千年以前此の地方に在つた東古斯族の遺跡と云ふ事が發見された。此の民族は當時遼陽附近太子河を境として居住しそれを境とした南北の民族は全然趣を異にして居たと稱せられる。

(印畫の複製を禁ず)

(亞細亞大觀)



萬家嶺の石礮

(線本滿南)

滿鐵本線萬家嶺驛の東方約一里半位の地点
 山の中腹にあり石礮を中芯として建築せられ
 てる。廟の創始は乾隆年間である最近は石
 垣を築き礎道の階段も新に寺廟の風致もよい
 石礮は娘々を祭つてみて參詣者の出入は自由
 である。

(印畫の複製を禁ず)

(亞細亞大觀 十二卷八回)

(ルメル)

(店 藥)

た、此の民族は當時遼陽附近太子河を境とし
 て居住しそれを境とした南北の民族は全然趣
 を異にして居たと稱せられる。

(印畫の複製を禁ず)

(亞細)



九塞の石礮

(線本鐵滿)

許家屯驛を發すれば僅かにして車窓から西方展望すれば鬱蒼たる松樹が丘陵の上に現れるこれが石礮山古雲寺である九塞驛よりは西南約一里半位山上の廣き平地の上に在る現存は廟の建物となつて娘々を祀る天井なせる上部の覆石は長さ二丈八尺、幅一丈八尺、厚さ一尺八寸位の花崗石、支石の高さ七尺五分位で現在では滿洲第一の石礮である。

(印畫の複製を禁ず)

(亞細亞人觀 十二輯八回)

水分

(鐵滿)

分水驛の東方約一里半の地点山間の丘陵に在り台地に登れば附近の村落を隔て遙に雄大な景観が展聖される石礮の石質は花崗石、東面を徐く外は完全である天井石の厚さ四五

(十二輯八回)



ンメルドの水分
(線本鐵滿)

分水驛の東方約一里半の地点山間の丘陵に在り台地に登れば附近の村落を隔て遙に雄大なる景觀が展聖される石砌の石質は花崗石、東面を徐く外は完全である天井石の厚さ四五呎、幅四、一六米、長さ四、七七米、壁石の高さ一、九〇米、厚さ三八呎古色蒼然たる姿は偉觀である

(印畫の複製を禁ず)

(亞細亞人觀 十二輯八回)

砌石の
(線本鐵滿)

在は廟の建物となつて娘々を祀る天井なせる上部の覆石は長さ二丈八尺、幅一丈八尺、厚さ一尺八寸位の花崗石、支石の高さ七尺五分位で現在では滿洲第一の石砌である。

(印畫の複製を禁ず)

(亞細亞人觀 十二輯八回)



姑嫂石
(城木析)

南滿本線海城驛の東方約五里廿五町の地点にある、析木城を東南へ岫巖街道を約一里位進めば遙かに山上の松樹の間からくるすんた巨石が展望される。これが完存してゐる姑嫂石だ。山を登ると、巨大なる花崗岩の磐石、其の堂々たるに驚異せざるを得ない。高さ五尺四五寸、蓋石の長さ二丈數尺、同石の厚さ幅は之れに適へり、蓋石の長さ二丈數尺、同石の厚さ幅は遺憾である。

(印畫の複製を禁ず)

(亞細亞大觀 十二輯八回)

姑

析) 岫巖に趣く途上左側山に接した畑地の隅に在り巨大なる蓋石、側石の破壊せられ僅に天井石のみ大きさを來してゐる。これ等二個の

(二輯八回)



姑嫂石
(城木析)

岫巖に趣く途上左側山に接した畑地の隅に在り巨大なる蓋石、側石の破壊せられ僅に天井石のみ大きさを來してゐる。これ等二個のドルメンは、明治二十七八年日清戦争の休戦中に鳥居博士の發見せられたものである傳説に曰ふ昔二女あり石に登りて仙と成る」と

(印畫の複製を禁ず)

(亞細亞大觀 十二輯八回)

姑嫂石
(城木析)

れば遙かに山上の松樹の間からくる巨石が展望される。これが完存してゐる姑嫂石だる近くるつれてその姿が明瞭と成て來るに山かを登れた、巨大なる花崗岩の磐石其の堂々たるに驚異せざるを得ない。高さ五尺四寸、蓋石の長さは二丈數尺、同石の厚さ幅は五寸、蓋石の長さ二丈數尺、同石の厚さ幅は遺憾である。これ等は、二女あり石に登りて仙と成る」と

(印畫の複製を禁ず)

(亞細亞大觀 十二輯八回)

通化縣

通化縣の南方一里半位ひの地点大溝沙金鑛への通路があり其の東側の山間丘上に二個のドルメンがある、この寫眞は、其上部に在完

通化縣内の石礮

同縣旺清邊門の東方約五那里許り高力城子を通じて蜆帖河川の渡船場を北岸に渡り約一里位の北方の山麓の丘上にあり尙を此の地も二個ありその一は山下にあれば即ち崩壊し僅かに存在するに過ぎぬ大きさは略々前者に同一程度である。この寫眞は其上部より見たる遠景である。

(印畫の複製を禁ず)





通化縣の石礪

通化縣の南方一里半位の地点大溝沙金鑛への通路があり其の東側の山間丘上に二個のドルメンがある、この寫眞は、其上部に左完存してゐる分で高さ四尺、横二尺五寸位、中央は五尺程の幅ありて覆石は長さ一間半横一位あるがトルメンとしては小なるものである。

(印畫の複製を禁ず)

(亞細亞人觀 十二輯八回)

石礪の

一程度である。この寫眞は其上部より見たる遠景である。

(印畫の複製を禁ず)

(亞細亞)

ルヒンメ
(線奉安)

高李傳めにりきと
 つ瀛説寫切この約鳳
 とぬ約風に眞りの村三鳳
 る一依の出廟落那城の
 さ丈二れ如せしにれ許西
 ざ厚が唐狀も一ごに南三
 古さ建代をがの路石義
 代の下せ天す'年多傍柱廟
 の遺部し監'年の風あり北
 蹟八寸と職非雨石質化一
 たるは部曰在や曝崗帝
 は疑は更へり。思されし
 べから石岡のる爲雑あ
 ちな

(印畫の複製を禁ず)

(亞細亞大觀 十二輯八回)

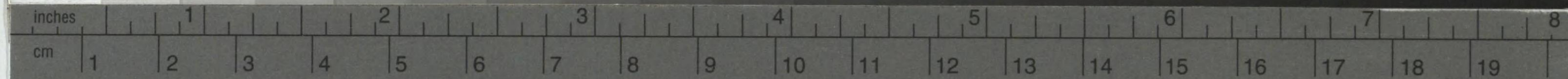
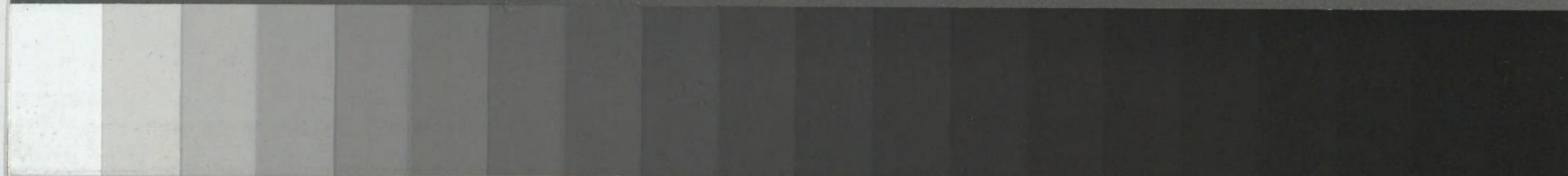


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

